

クラウドツールによるDXに欠かせないiPaaS活用について

クラウドツールはiPaaSで他ツールと連携して便利に使えます。

クラウドツールを導入したが、
思ったより業務効率化されていないと感じる方向け



顧客データが多すぎて、フォローすべき顧客がわかりづらくなった・・・

複数のクラウドツールに同じような情報を入力する必要が生じて手間・・・

クラウドツールへの入力・インポート作業の工数を減らしたい・・・

クラウドツール内では出来ない計算・場合分け処理がある・・・

iPaaSは直接API連携できないクラウドツール同士の連携も可能です。

【主なiPaaSツール】

Zapier

IFTTT

Anyflow

iPaaS（Integration Platform as a Service）とは？

iPaaS（アイパース）を活用することで、クラウドとオンプレミスのデータやサービスの連携、クラウド同士の連携がノーコードで可能となり、様々な業務効率化が図れます。

各システム同士で直接API連携できる場合もありますが、そうではない場合には、iPaaSを通して様々なシステム間連携、アプリケーション間連携が可能となります。

システムからシステムへアナログ作業でCSVデータ移行していた過程を自動化できたり、アプリで作成したファイルを他のクラウドサービスのチームフォルダに自動保存できたりと、あらゆる連携が簡単に実現できます。

事例① CRM上で特定の条件を満たしたときチャットツール等に通知



CRM



iPaaS

チャット
ツール

○活用イメージ

- ・ 契約更新が迫っている顧客を通知する。
- ・ 解約リスクにつながる事象を検知した場合のみアラート。
(例：メールがずっと開封されていないなど)
- ・ CRMへの入力忘れを検知して、担当者に通知する。



事例② CRMに入力した内容を別ツールにも同期させる。



CRM



iPaaS



別ツール

○活用イメージ

- ・ CRMで取引先の基本情報が変更されると、請求書発行システムの取引先情報も自動で変更される。
- ・ CRMのダッシュボード機能で対応できないデータをスプレッドシートに自動連携し、シート上でグラフ生成して可視化する。
- ・ CRMの情報を会員サイトに連携して、会員ごとにパーソナライズされたコンテンツを表示させる。

請求書

日付 : 2021年09月03日

請求書番号 : 1

取引先

書類上の表示

名称 敬称

郵便番号 都道府県

市区町村・番地

建物名・部屋番号など

部署名、担当者名

総務部 佐藤様

下書き

事例③ 別ツールの情報をCRMに自動でインポートする。



別ツール



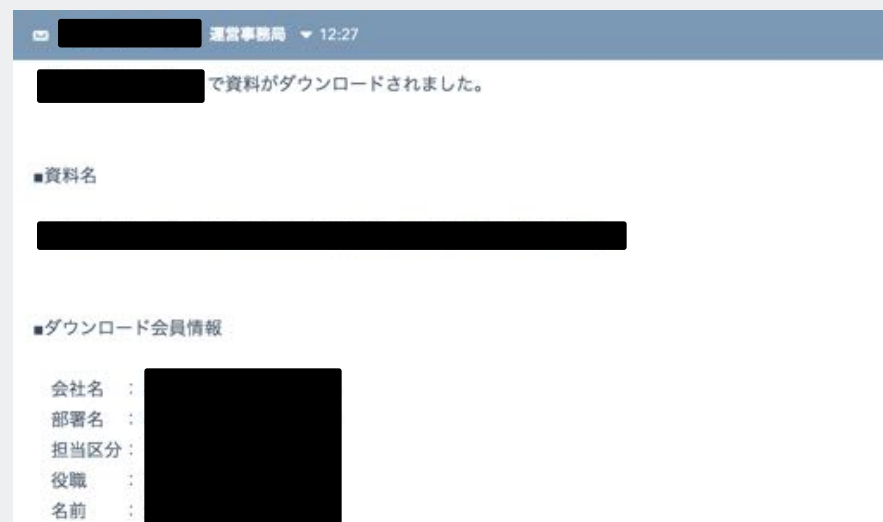
iPaaS



CRM

○活用イメージ

- ・資料DLサイトからのメールを検知して、メール本文の情報からCRMに新規顧客情報を登録。
- ・会員サイト上で会員が自身の登録情報変更をかけた際に、CRMに登録されている基本情報も変更をかける。
- ・会計システムで管理されている顧客毎の毎月の請求金額をCRMにも自動連携する。



事例④ CRMの登録情報を別ツールに連携して、処理後のデータを戻す。



○活用イメージ

- ・ CRMから計算に必要な情報をスプレッドシートに連携し、シート上で複雑な計算ロジック（条件分岐、複雑な料金体系など）を処理して、計算結果をCRMに戻す。
- ・ CRMのある顧客の情報が変更された際に、関連する顧客の情報も自動で変更する処理がCRM上で実現できない場合に、関連する顧客のIDをスプレッドシート等に連携し、スプレッドシート上で処理を行いCRMに戻す。
- ・ CRMと別ツールのいずれかで登録情報の更新がかかった場合に、双方を最新の状態にする。（同期する）

DXMART

クラウドツール×副業人材で、寄り添うDX。